

文芸

漢字にはふりがなを記入し、種類（短歌・俳句・狂言）ごとに投稿してください。
同じ句は広報紙以外に投稿（重複投稿）しないでください。

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、
役場広報紙まで。締切は毎月15日（必着）です。

短歌

末武 有二 選

雨蛙^{あまぐゐ}一つが鳴けば透^すかさずにまた一つ鳴く
水無月^{みなづき}の庭 安永 守住 孝子
4年ぶり里への鉄道再開のニュースに触れて
心安らぐ 安永 川野 光子
野の花に名前があると思えども小さき花に愛^{いと}
しさ憶^{おぼ}ゆ 宮園 島 みつき
梅雨入りの雨もうれしや紫陽花^{あじさい}も元氣を得た
り花も艶めく 惣領 島田 廣子
道沿いに競いて咲ける百合^{ゆり}の花歩みを止めて
見入る人あり 広崎 松原まゆみ
青梅がほどよく実りちぎり漬^しけ赤く染む日を
じっと待つ梅雨 広崎 日野ヒロ子
横風に自転車押して帰る道今日も一日楽しい
職場 古閑 井上てつ子
ボタンと名付けて孫はバッタ飼うコロナで
会えぬ友を思って 木山 本田 龍子
消える日のあてなきコロナ憎らしい巣ごもり
の朝新茶香るも 宮園 今吉マキ子
あまた咲く庭のつるバラ鮮やかだ吹き来る風
はまさに薫^{くんぷ}風 安永 福田 圭子
雨の朝散歩コースのオニアザミ濡れたマスク
は誰がかぶせた 赤井 鈴木 駒
※6月号の短歌で、日野ヒロ子さんの作品に誤りがあり
ました。正しくは次のとおりです。おわびして訂正
します。 正 亡父 誤 亡夫

俳句

風に揺れきらきら光る田圃^{たんぼ}かな
半夏生^{はんげしょう}「お茶にしようよお母さん」

干し梅の色鮮やかに青田風
紫陽花^{あじさい}や水玉並ぶクモの糸
剪定^{せんてい}を終えて柚子^{ゆず}の木香りけり
草餅の摘み草露に染まりけり
大輪の花咲く夜空船野山
絵手紙の太き竹の子友恋し
田植え支度ふる里の土濃き色に
一句鑑賞
また一つくすりが増えて梅雨ごもり

河野 全平 選

惣領 阪口由美子
赤井 鈴木 駒
宮園 今吉マキ子
福原 井上よしこ
古閑 井上 誠二
新外 西田 正巳
赤井 増岡 伸禧
木山 山口サツキ
田原 辻ヶ峰子
山口 五月

川柳

布田川左門 選

『お題』 自由詠
新じゃがでコロツケ作り友を呼ぶ
マスク故親しい友が通り過ぎ
マスクして「熱中症」を恐れてる
『お題』 雨
土砂降りに「雨の慕情」が流れてる
その昔^{かみ}の「雨降りお月」懐かしい
コロナ大雨渋谷新宿歌舞伎町
※参考例
にわか雨杖を抱えて走り出す（ボヤキ川柳）

赤井の老女
マスクの正巳
取越九郎兵衛

赤井の天才
ぴちぴちころん
クラブのママ

川柳のお題 「原爆」

益城の文化財
町文化財保護委員会



田 原

浄信寺復旧工事 (1)

田原地区にある浄信寺は、平成28年熊本地震で、本堂をはじめ町文化財の山門などが甚大な被害を受けました。現在、復旧が進んでいる中で、今回は本堂の状況をお知らせします。

江戸時代末期から明治初期ごろに建てられた本堂は、熊本地震の本震で大きく傾き、倒壊は免れたものの解体を余儀なくされました。住職いわく「どうしようもない状況」でしたが、多くの励まし・支えで、住職は再建を決意しました。再建資金のこ

とや伝統工法を受け継ぐ宮大工の選任などの課題もありましたが、平成29年7月28日、復旧工事に着工。復旧が完了し、5月9日に法要が行われました。